

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。〈学校HP [tps://isawachu.edumap.jp](https://isawachu.edumap.jp)〉

胆沢プライド文化祭 「つむぐ～胆沢中の絆～」



今年の文化祭は、焼石太鼓のオープニング演奏で始まりました。全校制作（モザイク画）紹介、文化部（創作部、科学部、吹奏楽部）の紹介や実演・演奏発表、合唱コンクールなどのステージ発表と、教室での教科作品展示や総合のまとめ展示などの多彩な表現活動に取り組むことができました。また、生徒会執行部による開閉祭式の演出も楽しく、盛り上がりもたくさんありました。特に、数年ぶりとなる全校による全体合唱を発表できたこと、新しい内容としてタブレット型端末を利用した学級CMの制作を実現できたことは素晴らしいことだと思います。

企画実現にあたり、今回も3年生のリーダーシップを強く感じる事ができました。一体感のある取組であり、全校生徒350名の胆沢中生の思いや願いを発揮できた行事となりました。

県新人大会(前期)

屋外競技が実施されました。2日目は雨となりましたが、準備してきたことを発揮する大会となりました。応援ありがとうございました。

陸上競技：1年男子1500m3位 及川裕翔、

1年男子100mH8位 菅原佑太

ソフトテニス競技(女子)：団体戦3位、個人戦

5位 高橋綾・小野寺加純組

いさわ小中学校音楽会

小学生の元気あふれる気持ちのこもった発表と、表現力を備えた中学生(1年B組・2年A組)の合唱交流の場となりました。最後に全体合唱として歌った「少年期」に胆沢らしさを感じた音楽会となりました。

読み解く力と読書

短文や短時間映像にのみ触れていたり、ドラマの粗筋だけを視聴可能になったせいか、文脈や映画・演劇・落語等を理解し、読み解く力が弱くなっているという指摘があります。力をつけるには、読む・観る経験以外にありません。特に本に没頭する経験は、人生を豊かにします。多くの作品に触れてほしいと願っています。

・名作や定番の本、興味や関心のあるジャンルを選ぶ
・推薦図書やレビューを参考にして選ぶ
・映画化された作品から選ぶ
・読書量の多い人に紹介してもらう

PTA資源回収28日(土)

お知らせしていた通り、次の場所と時間で資源回収を行います。ご協力をお願いいたします。

<回収品目>

・古新聞 ・段ボール ・雑誌 ・牛乳パック
・アルミ缶 ・スチール缶 ・飼料袋

<小山地域>

胆沢第一小プール 10時~10時50分

J A 柴山農業倉庫 10時30分~11時20分

<南都田地域>

南都田地区センター体育館 12時30分~13時20分

<若柳地域>

J A 堰袋農業倉庫 13時10分~14時

高1調査²⁴「上級学校」

子にどの段階の学校まで進んでほしいか？

高校まで	10. 6%
専門学校・各種学校まで	8. 8%
短大・高等専門学校まで	4. 7%
大学まで	62. 1%
大学院まで	2. 9%
まだわからない	6. 2%
その他	3. 6%

結果を見ると、学びの段階は高校以上が必要であると考えている割合がほとんどとなっています。令和3年度岩手県の大学進学率(現役)は、46.7%となっています。

技術の進歩と社会の変化に伴い、学ぶことの意味も変わっています。これからの予測不可能な(答のない)時代に対応する必要があることは、意識させたいところです。